



題字は松井岳洋氏

No. 416
平成 24 年 11 月

発行
(公社) 日本詩吟学院 認可

碩心会

発行者 内山岳青
編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸 1-7-28
Tel/Fax. 0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>

明日への課題

総務部長 有友嘉岳

創立75周年記念吟詠大会を成功裏に終えることができましたが、その後内山岳青会長が碩心会の今後の課題は「会員の増加」と「吟力の向上」であると強調されています。



私も4年前から常任理事(経理部担当)を務めていますのでこの課題達成の必要性を常々強く感じております。

そこで誠に僭越ではありますが、この課題について私見を述べてみたいと思います。まず「会員の増加」ですが、現在の会員数は208名、15年前と比べるとなんと約200名の減員となっています。このことが碩心会活動予算を逼迫させ、現在活動方法の見直しで追い越している状態です。加えて会員の高齢化(平均年齢は72歳)が進み今後は退会者の増加が心配です。それでは増加策の決め手は何処にあるの

でしょうか。

4年前から「レッツ詩吟」の定期開催、普及部を中心に機会を捉えての広報活動等が実践されていますが十分な成果は出ていません。むしろ他人任せではなく、まず会員一人一人が「会員増加」の自覚を強く持ち友人・知人の中から一人でも多く入会希望者を発掘し勧誘していくことこそ鍵ではないでしょうか。

次に「吟力の向上」ですが、まず個々人の吟力(吟法、声量、発声、音程、詩情表現力など)の未熟な部分に気づき修正していくことが吟力向上の鍵になると思いますので、各教場の指導者の適時適切な指導がより強く求められていると思われれます。一方各人は教場昇段審査、吟道講座、地区及びブロックの吟詠大会等の機会を捉えて学習し、これを基に今まで以上に反復練習することが碩心会全体の吟力向上に繋がるのではないかと考えます。とはいえ私自身の吟歴16年を顧みると忸怩たる思いですが、めげずに課題達成にチャレンジする所存でおります。

行事予定

碩心会皆伝会

日時 12月1日(日) 開会10時〜閉会14時30分

場所 葉山港管理事務所2階会議室

詩吟体験教室 Let's SHIGISHI

日時 12月8日(土) 午後1時〜2時30分

場所 逗子市民交流センター第5会議室

碩心会初吟会

日時 1月12日(土) 受付9時30分

場所 葉山町福祉文化会館

昇伝段位認許

(平成24年10月1日付)

少年 3名

167 松浦みづき(少二段) 180 吉田朋之進(少八級)

181 島袋泰成(少九級)

初段 3名

191 永田穂積 192 金澤正宏 193 津呂知子

二段 3名

185 伊藤洋子 187 山口欽三 188 郷原美貴子

初伝 5名

175 泉谷鐵泉 176 馬場香泉 178 加藤典泉

179 田嶋明泉 182 亀井水泉

三段 6名

168 山中郁泉 169 有田暢泉 170 松井淳泉

171 吉田新泉 172 白石雅泉 173 常盤仙泉

四段 1名

164 井戸田喜泉

中伝 3名

156 中山辰山 157 村上遥山 158 岩崎健山

五段 4名

148 森 祐山 149 森 晶山 150 照沼夏山

151 山下友山

六段 8名

139 有島光山 140 土屋櫻山 141 梅田萌山

142 今原幸山 143 新田香山 144 畠中潤山

145 栗原俊山 146 矢嶋敏山

奥伝 4名

128 梅澤彰風 129 歌代宗風

130 品川榮風 131 井上茗風

七段 2名

118 今井重風 119 大塚洋風

八段 2名

111 根岸和風 112 松木之風

吟詠と詩舞の集いに参加して

一色支部 野村 耀 泉

秋晴れの10月27日葉山町福祉文化会館に於いて日頃の練習の成果を発表致しました。

今回は葉山地区主導で2年ぶりの大会となり私は詩吟、詩舞両方参加いたしました。詩吟は連吟で初めて舞台上で一人で吟じました。

“みんな”で増やそう新会員

「秋季審査会」を受けて

東伏見支部 大野 祥 風

9月29日秋季審査会が葉山町福祉文化会館で行なわれ、午後の部は現段位六段から十段(準師範受審)の者が対象で10名が受審した。

冒頭、内山会長のご挨拶があり、一、会員数の拡大 二、各会員の吟詠力の向上 を挙げられたが、今回私が挑戦した「皆伝」受審者は私一人で淋しい思いをしていた事もあり、成長・発展する組織にあつて広い裾野を持つ重大性を改めて認識させられた。

吟詠四課題、書取り一課題を終え、内山会長から講評を頂いたが、一、基礎を疎かにしない。特に二句三息吟法の基となる腹式呼吸をマスターすること。又、腹式呼吸により「力のある声(単なる大声とは違う)」を得

緊張しましたが何とかつかえずに吟ずることが出来ました。内山会長のご挨拶で新会員の獲得と吟力のレベルアップ(個人、教室、指導者)これが傾心会の吟力の向上に繋がるというお話がありました。私もこれからも一層精進してまいりたいと思います。最後になりましたが今回の大会の企画、運営に携わって下さった先生方に厚く御礼申し上げます。親睦会も和気藹々と楽しく過ごせました。

る事が出来る。一、暖急・強弱・スピード感・リズム感 を養い、感情表現力を高めること。この2点が特に印象に残った。

「審査」と云う目標に向つて自分なりに努力を積み、そこで諸先生方から適切なアドバイスも頂けた事が大変貴重な勉強になった。

仲間入り酔吟支部

師範 行 谷 隆 岳

蒲田教場十年・逗子教場五年。この度大変お世話になりました滝の坂支部より10月をもって独立致しました。御礼申し上げます。

支部名は会員で協議の末「酔吟」。何かお酒が匂つてきそうですね。でもそんな事はないんですよ。ご存知の中唐の詩人、白居易の号にあやかつた神聖な名前。白居易は姓は白、名は居易、字は楽天、号は醉吟。玄宗皇帝と楊貴妃の悲恋物語を書いた「長恨歌」の作者で我が国にも大きな影響を与えた詩人です。弟子達に酔吟先生と呼ばれ親しまれました。できたての酔吟支部名は白居易先生の称号をお借りしたと言うわけです。

会員は鈴木康山支部長を筆頭に年齢とは反比例、意気に燃えた多士済々のメンバー。歴史ある傾心会に恥じないように頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。

9月・10月の「詩吟体験教室」

あなたも詩吟を始めませんか！普及部が会員増に力を注いでいるレッツ詩吟のキャッチフレーズ。みんなで増やそう新会員！これは機関紙頑心に毎号掲出のキャッチコピー。日本の伝統文化を継承する吟道の振興・普及は何よりも新しい会員を増やすこと。新年度、上村副会長が普及の先頭に立たれ、第1回の詩吟教室を9月22日、第2回を10月14日に返子交流センターで開催した。両日とも内山会長自らが講師を務められた。

初回、教室には中国旅行の土産を思わせる楓橋夜泊の掛け軸が掲げられ、授業が始まる。「声さえ出れば誰でも詩吟は出来る」先生の優しい語り掛けに初参加の方にはこの一言で入門の敷居は低い？と安心。この後、終始ユーモアを交えて詩吟って何、詩吟の効用、趣味として詩吟の良さ、詩吟修得の順序を懇切に説明、笑いを誘いながらも吟詠の要点を外さない。学習は吟力の向上はもとより、詩歌や歴史にも通暁し、何よりも詩情に添って詠ずることの楽しさがアンチ・エイジング。締めは全員で課題吟を合吟、この余韻の中から新しい吟友が生まれそう。両日の参加者は60名、初めての方は16名を数えた。
(今回の盛り上げ支部は渚、真澄) 常磐

新総伝者を祝う会

悠吟支部 大前 岳 千

この度、新総伝のお祝いをして頂き有難うございました。各先生方の寄せ書き(色紙)は一生の宝物です。

ここまでに至ったことは身に余る光栄と感謝いたします。頑心会の諸先生のご指導の賜物と深くお礼申し上げます。

今後益々吟道、吟詠に精進してまいる所存です。

紫陽花支部 矢 嶋 岳 晃

総伝を頂きこの上ない喜びとともにこれらの責任感を痛切に感じております。

顧みれば楽しかったことや思うように他の人の心に通じることのできなかつた事がいろいろ思い出されます。今後は広い視野を持ち、一人でも多くの方に詩吟を通じて人と人の心の繋がりを大切にし喜びを伝えていきたいと思えます。

長柄支部 石 井 虹 岳

この度は新総伝の祝賀会を催して頂き、また先生方のお心のこもった色紙を頂き誠に有難うございます。これも加藤岳洵先生をはじめ皆様のお陰と心よりお礼申し上げます。

これより初心に戻り、心を引き締め楽しく続けられたらと思っております。



平成24年頑心会新総伝者を祝う会 H24.10.5 於和樂(かずら)

瀬朗支部 海 津 岳 祥

この度は総伝を頂き有難うございました。光陰矢の如しで、昭和61年知人のお世話で入会し早26年です。途中、心筋梗塞その他病氣もりましたが続けてきた結果今日の喜びを頂きました。とにかく詩吟は難しく知れば知るほど奥深い反面、詩の心を知ることは良い勉強になります。これからも出来る限り続けてゆきたいと思えます。

神奈川岳風連合吟詠大会

9月5日(日)藤沢市民会館で標記大会が
猛暑の中、盛大に開催されました。

主催者挨拶では臼井大会会長から、総
本部より木村岳風先生始め先人の優れた
吟をしつかり勉強するよう要望されてい
る。私達は吟界発展のために詩歌・吟詠
を通じて日本の伝統文化を守り、日本人
の精神を広く国民に広げるよう努めても
らいたい。また、今回から「はまゆう吟
詠会」が新たに誕生した旨がありました。
午後から連吟コンクールが3名1組の
各会代表19チームで行なわれました。

出場チームは日頃の練習成果を發揮しよう
と強い熱気が感ぜられ、特に女性は袴や素晴
らしい服装で統一され、一挙手一投足も節度
があり、応援する会場も緊張して聴き入り、
審査員も大変だろうと感ずる接戦が続きまし
た。優勝チームは特に素晴らしく、富士山を
3名とも声質は同じで全員が思い切り声を出
して一つの声に聞こえ、情感があり、止める
ところも揃っており相当練習を積んだ成果を
感じました。最後の講評では振り止めが不十
分、三人三様の声、作者名から吟に入るのが
早い、強弱メリハリをつける、イトエの区別
不十分等の注意がありました。

高見

会員のうごき

*入会 (10月1日付)

- 199 伊藤友子 (渚)
三浦郡葉山町一色1480
☎ 046-875-4368
- 200 片桐泰子 (真名瀬)
鎌倉市佐助1-15-19
☎ 0467-23-2942 紹介者 鈴木岳賢
- 201 中島千津子 (松和)
茅ヶ崎市東海岸南1-19-8
☎ 0467-82-3572 紹介者 宇都宮岳徳
- 202 田中要子 (松和)
茅ヶ崎市東海岸南1-8-5
☎ 0467-86-2839 紹介者 宇都宮岳徳
- 203 野村京子 (松和)
茅ヶ崎市東海岸南1-19-20
☎ 0467-88-5107 紹介者 宇都宮岳徳
- 204 小林由子 (松和)
茅ヶ崎市東海岸北5-14-36
☎ 0467-83-0830 紹介者 宇都宮岳徳
- 205 長谷川榮子 (松和)
茅ヶ崎市中海岸1-2-7-604
☎ 0467-82-2763 紹介者 宇都宮岳徳
- 206 井上裕之 (松和)
茅ヶ崎市中海岸1-4-70
☎ 0467-82-3981 紹介者 宇都宮岳徳
- 207 小川時子 (松和)
茅ヶ崎市南湖3-6-12
☎ 0467-82-6890 紹介者 宇都宮岳徳
- 208 寺山則子 (悠吟) 小野教室
逗子市桜山5-23-2
☎ 046-873-9904 紹介者 小野岳祥
- *入会 (11月1日付)
- 209 神山 功 (長柄)
三浦郡葉山町長柄1461
☎ 046-875-6110 バス停ポスターを見て
- *退会 162 小川美泉 (渚)

尚歯会神奈川吟詠大会

篁風支部 高橋 陽 風

10月3日、神奈川公会堂で行われた同大会
に傾心会として参加しましたが、こんなに大
きな会へ出るのは初めてなので、とても緊張
しました。吟題が「某楼に飲す」で、強い吟
なので大きな声でしつかり吟ずるようと先
生に言われ、今までになく何度も練習しまし
た。順番が6と午後でしたので待ち時間がか
なりありましたが、いざ吟じてみると思った
より上手くいったと感じました。こうした大
会には、出るのもいいなあと思いました。

編集後記

紙面の都合で名簿訂正等
は次号にさせて頂きました。
今年、日中関係は思いが
けず冷え込みました。
漢詩を学び詠ずる私達に
とって悲しいことです。国
家や政治の荒波に囚われる
ことなく、文化交流の重要
性に目を向け個人と個人の
関係を深めて行きたいもの
です。

広報部

24年11月1日現在	会 員 数
葉 山 地 区	8 5 名
逗 子 地 区	1 2 3 名
合 計	2 0 8 名